

事務事業名	児童福祉総務管理事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	総務政策グループ	
	施策名	〈25〉子育て支援の充実		課長名	渡部泰昌	
	目的: 対象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意図	A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2252
	担当者名	南波真二		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:1:1:5:0:2 業名 1:0:0:5:0:1 中事業 中事業 児童福祉総務管理事業 児童福祉総務管理事業	
基本事業名	〈072〉子育てと仕事の両立支援					
目的: 対象	保護者		意図	子育てと仕事を両立できる。		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H28 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
児童福祉施策全般の事務事業

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) ・児童福祉施策全般の事務 ・第2期子ども・子育て支援事業計画の策定 ・幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) ・児童福祉施策全般の事務 財源: 子ども・子育て支援事業費補助金(教育・保育無償化対象経費)				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 事務事業経費	円	1,506	2,359	10,666	904
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	各児童福祉施策の対象者	ア 18歳までの子どもを持つ世帯数	世帯	3,094	3,013	2,953	2,888
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
子育てしやすい環境を整える	ア 子育てしやすい環境だと感じる保護者の割合(行政サービスの視点)	%	79.2	-	-	-	
	イ 子育て支援に関する行政サービスが整っていると感じる市民の割合	%		75.0	70.2	76.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
需用費 2,038千円 委託料 子ども・子育て支援事業計画策定 1,536千円 無償化に伴うシステム改修 6,897千円 その他 244千円 計 10,715千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円		8,600	660
		地方債	千円			
		その他	千円		50	
		一般財源	千円	1,506	2,359	2,065
		事業費計(A)	千円	1,506	2,359	10,715
【財源】 ・子ども・子育て支援事業費補助金(教育・保育無償化対象経費)、寄附金	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3
		延べ業務時間	時間	150	500	1,000
		人件費計(B)	千円	612	2,166	4,240
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,118	4,525	14,955

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・子どもや子育てをめぐる社会情勢は大きく変化してきている。そのうち、特に大きな変化として令和元年10月より幼児教育・保育の無償化が開始された。	平成26年度に雲南市子ども・子育て支援事業計画を策定し、これまで子育てに関する様々な施策を展開してきた。また、令和元年度には今後の5年間(R2~6年度)の計画となる「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定した。	・児童福祉行政に対するニーズは、多様化、増加傾向にある。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？正職員以外や外部委託ができないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後、令和元年度に策定した第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てに関する様々な施策の展開を予定している。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
今後、令和元年度に策定した第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育てに関する様々な施策の展開を予定している。年次的に実績から評価を行い、必要に応じて計画の見直しを行なうこととする。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。 </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		